

腹壁および鼠径ヘルニアに対する 必要な手技および解剖知識の習得 (MILOS and TAPP セミナー)

解剖実習セミナーを開催します。

参加希望者は下記申込先(メール)までご連絡ください。

日時 令和6年3月3日(日) **9時～15時30分**

場所 岡山大学鹿田キャンパス 解剖実習室

担当講師：植野 望(大阪府済生会吹田病院 ヘルニアセンター科長)

横山隆秀(信州上田医療センター 外科系診療部長)

井谷史嗣(広島市民病院 外科主任部長)

対象：腹壁解剖の理解を深めたい若手外科医、腹壁癒痕ヘルニアに対するMILOS法の導入を考えている、または鼠径ヘルニアのTAPPの知識を深めたい考えている一般外科医

参加費：5万円 募集人数：4～6名(MILOS 2～4名 TAPP 2名)

見学：1万円(募集 若干名)

実習内容

講義 9：00～10：00 鼠径部および腹壁の解剖および手技の講義

実習 10：00～11：30 ヘルニア手術の執刀(午前)

12：30～15：30 ヘルニア手術の執刀(午後)

通常ホルマリン固定ではなく、シール(Thiel)法によって固定されたご献体での実習となります。腹壁と鼠径部の講義を合同で行い、それぞれのパートに分かれて腹壁ヘルニアはMILOS(mini or less-open sublay operation)を、鼠径ヘルニアはTAPP(Trans-Abdominal Pre-Peritoneal repair)を予定しております。状況に応じて、鏡視下の実習後に直視下での解剖の確認を行います。内視鏡は実際の手術に使用する機材を用いて、実臨床に即した実習を行います。

申込先 岡山大学病院消化器外科学 TEL：086-235-7257

mail：tarkun1@gmail.com (担当：近藤喜太) 申込締切：令和6年2月29日(木)

協賛

特定非営利法人オアシス(OASISS:岡山大学関連外科研修情報支援機構)